

1. 世話人について

障害のあるかたが、地域で自立した生活を送るため、他の障害のあるかたと共同生活をする福祉施設として、「グループホーム」があります。



©稲沢市 いなッピー

1. 世話人とは

グループホームで暮らすかたの日常生活のサポートを行うスタッフです。

2. 世話人の役割、仕事

掃除・洗濯・調理などの家事支援、食事・風呂・トイレなどに不自由があるかたの身体介助、日常生活を送る上での相談・コミュニケーションなど、入居者が必要とするサポートを行います。

3. 要件、資格、一緒に働く人など

「世話人」には特別な資格は必要ありません。法律で決められた基準で、利用者の人数に応じて配置されます。他に「サービス管理責任者」という資格を持つかたが必ず配置され、障害のあるかたが自立した生活を送るための支援計画の作成や、世話人への業務上の助言などを行います。

4. 世話人のタイムスケジュールの例

(ケース1) 夜勤の場合の一例

16:00	出勤、日中活動からの出迎え
17:00	入浴、夕食、服薬確認、
～	洗濯、コミュニケーションなど
22:00	就寝→ 0:00 と 3:00 に巡回
6:30	朝食準備、服薬確認など
7:30	掃除など
8:30	日中活動への送り出し
9:00	退勤

(ケース2) 日勤の場合の一例

8:45	出勤
～	申し送り、体調確認
9:00	日中活動への送り出し
～	清掃・環境整備
12:00	休憩
13:00	事務仕事・電話対応など
15:30	日中活動からの出迎え
17:15	業務終了

5. 働いているかたの声

A さん(70代、経験年数3年)

グループホームは様々な障害特性の方が共同生活をする場ですので、一筋縄ではいかないことが多いです。でも、小さなことでもできた時の達成の喜びを共に実感したり、私も癒されたり、元気をもらったり、楽しく思う場面もあります。生活の中で、一つでもできることを増やし、自立を目指していただけるよう、優しく、時には厳しく... 正確なやり方はないと思いますが、やりがいのある仕事です。

B さん(70代、経験年数4年)

私の働くグループホームでは、精神疾患により強いこだわりを持っている方や、長期入院から社会に出て不安を抱えている方などが共同で生活を送っています。私は看護師として病院で勤務した後、経験を生かせると思いこの仕事に応募しました。人を相手にする仕事なので大変なこともあります。喜ばれて感謝もされるやりがいのある仕事です。体力が続く限り仕事を続けたいと思っています。

2.生活支援員について



©稲沢市 いなっぴー

障害のあるかたが、生活の支援を受けながら利用する福祉施設として「障害者支援施設」や「生活介護事業所」などがあります。

1. 生活支援員とは

障害者支援施設や生活介護事業所などの福祉施設で、障害のあるかたの日常生活のサポートを行うスタッフです。

2. 生活支援員の役割、仕事

食事・風呂・トイレなどに不自由があるかたの身体介助、軽作業などの活動のサポート、行事や外出など楽しめる活動への参加支援など、障害のあるかたの質の高い生活が維持できるようサポートします。

3. 要件、資格、一緒に働く人など

「生活支援員」には特別な資格は必要ありません。法律で決められた基準で、利用者の人数に応じて配置されます。他に「サービス管理責任者」という資格を持つかたが必ず配置され、障害のあるかたが自立した生活を送るための支援計画の作成や、生活支援員への業務上の助言などを行います。

4. 生活支援員のタイムスケジュールの例

(ケース1) 生活介護事業所の場合の一例

9:00	掃除など、車いす介助・誘導
9:45	作業・創作活動の補助
11:45	昼食準備・補助・見守り
13:00	作業・軽運動の補助
14:30	見守り・声掛け
15:30	荷物整理・帰宅準備
16:00	掃除など
随時	トイレ介助、オムツ交換

(ケース2) 障害者支援施設の場合の一例

6:00	起床介助・更衣・洗面等
7:45	朝食・食事介助・オムツ交換
9:00	離床介助・朝のお話など
10:00	清掃・洗濯・リハビリ・入浴
12:00	昼食・食事介助
13:30	入浴・オムツ交換・掃除・水分
18:00	夕食・食事介助・洗面介助
22:00	就寝・消灯・巡回

5. 働いているかたの声

Aさん(20代、経験年数5年)

私は福祉の専門学校卒業後から、生活介護事業所とグループホームでの兼務で生活支援員として5年程働いています。最初は相手が何を訴えているのか分からず戸惑う場面が多かったのですが、今では行動で相手への理解が出来る事が多くなり信頼関係を築けている手応えを感じています。利用者様の出来る事が増えていく事を一緒に喜ぶことがこの仕事の魅力の一つだと感じています。

Bさん(40代、経験年数23年)

私は、ボランティア活動がきっかけで、福祉に興味を持ち、主に直接利用者様と接する現場職員として働いています。周りからベテラン職員と呼ばれる機会が増えましたが、日々、自分が思い描いている職員としての理想と現実のギャップに戸惑いながら取り組んでいます。改めて「福祉の魅力って何？」と考えてみると、人と人とのつながりに触れ合えることかなと思います。また対人支援には、なかなか答えが見つからないからこそ、一生をかけて、やりがいのある仕事だと思います。

3.ホームヘルパーについて

障害のあるかたが、地域で自立した生活を送るために、自宅を訪問して日常生活の支援を行う「居宅介護事業所」があります。



©稲沢市 いなッピー

1. ホームヘルパーとは

障害のあるかたの自宅を訪問して、家事支援や身体介助を行うスタッフです。

2. ホームヘルパーの役割、仕事

掃除・洗濯・調理などの家事支援、食事・風呂・トイレなどに不自由があるかたの身体介助、日常生活を送る上での相談・コミュニケーションなど、障害のあるかたが必要とするサポートを行います。

3. 要件、資格、一緒に働く人など

「ホームヘルパー」には資格要件があります。事業所には他に「サービス提供責任者」という資格を持つかたが必ず配置され、自立した生活を送るための支援計画の作成や業務上の助言などを行います。

4. ホームヘルパーのタイムスケジュールの例

(ケース1) 1日3件の場合の一例

11:00～	家事援助(掃除)
11:45	昼休憩
13:30～	家事援助(調理)
14:15	次の訪問まで移動、待機
16:15～	身体介護(一緒に掃除・調理)
17:15	終了

(ケース2) 1日3件の場合の一例

8:30～	身体介護(全身清拭)
9:30	次の訪問まで移動、待機
10:00～	家事援助(買い物代行)
11:00	次の訪問まで移動、待機
16:40～	家事援助(調理)
17:40	終了

5. 働いているかたの声

Aさん(30歳代、経験年数10年)

この仕事では、利用者さんの自宅に直接訪問し、身体介護を行ったり、家事の支援をしたりします。利用者さんの生活に最も間近に接するため、利用者さんから感謝されることも多いです。時に苦情を言われることもあります。自分の足りないところだと受け止めて、利用者さんにとってより良い援助をしていきたいと思っています。

Bさん(20歳代、経験年数7年)

私は、今年でこの仕事を始めて8年目になります。この仕事は様々な障害をお持ちの方の自宅に訪問し、接する仕事です。一人一人、障害特性や生活状況も大きく異なるため、大変なことも多いですが、ご利用者様からの「ありがとう」の言葉に支えられて仕事ができます。